

1

【感謝と喜びを】F

感謝と喜びを 今 主の前に 今 主の前に
賛美を心から 今 主の前に ささげよう
イエスが流された 血潮で きよめられ
天に私の名が 記されている喜び

【感謝の心】

主よ 感謝します すべての恵みを 心から
主よ 感謝します いのちにまさるその恵みを
感謝の心 感謝の心

【一度死にし我をも】新聖歌202

1.

一度 死にしわれをも イエスは生かし給えり
咎(とが)と罪の代わりに 新たなるいのちあり

*時の間(ま)をも惜しみて 君はわれと語ろう
君はわれを放(はな)たず われはまた主にぞつく

2.

流れ落つる涙も 肩に担(にな)う荷物も
君は知りて憐れみ 愛の御手伸べ給(たも)う

3.

病めるわれに手を置き 弱きところ強くし
禍(まが)に幸(さち)に励ます 主イエスこそ神にませ

【あなたの御前には】

あなたのみ前には 喜びが満ち溢れ
あなたの右には 楽しみとこしえにある

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り

2. 悔い改めと主を慕い求める祈り

3. 個人的な願いの祈り

4. とりなしの祈り

- ・大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ・瀬戸カルバリーチャペルの成長のため
- 教会員とご家族の養いと導きと守りのため。
- 魂の救いと地域の伝道のため
- インターネット YouTube が用いられるように。
- 病いや困難と闘っている兄弟姉妹のため
- ライフアートスタジオのこれからのため
ウクレレ教室/キッズ英語教室/モンテッソーリ教室
クリスマス・アルバム「Room For Christ」のため

5. 日本と世界の平和を願って...

- 日本の国の霊的回復とリバイバルのため
- アジアの緊張関係にあって日本が用いられるように
- アメリカ大統領選とこれからの世界情勢のため
- イスラエルの平和のため

お申込み受付中!

オリジナル・クリスマス・アルバム

Room for Christ

メリークリスマス
時を越えて
Room For Christ など 全6曲

ピアノ弾き語り Xmasの贈り物に!

1000円(税込み)+送料

お申込み方法
① HPにオーダーフォーム
② kei.kurachi@gmail.comへ

瀬戸カルバリーチャペル

Seto LIFE ART Studio

愛知県瀬戸市みずの坂5-64 0561-48-8899
牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致しましょう。

2 今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

ヨハネによる福音書14章1～7節

1「あなたがたは、心を騒がせないがよい。神を信じ、またわたしを信じなさい。2 わたしの父の家には、すまいがたくさんある。もしなかったならば、わたしはそうっておいたであろう。あなたがたのために、場所を用意しに行くのだから。3 そして、行って、場所の用意ができたならば、またきて、あなたがたをわたしのところに迎えよう。わたしのおる所にあなたがたもおらせるためである。4 わたしがどこへ行くのか、その道はあなたがたにわかっている」。5 トマスはイエスに言った、「主よ、どこへおいでになるのか、わたしたちにはわかりません。どうしてその道がわかるでしょう」。6 イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、真理であり、命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない。7 もしあなたがたがわたしを知っていたならば、わたしの父をも知ったであろう。しかし、今は父を知っており、またすでに父を見たのである」。

詩篇77篇19～20節

19 あなたの大路は海の中にあり、あなたの道は大水の中にあり、あなたの足跡はずねえなかった。20 あなたは、その民をモーセとアロンの手によって羊の群れのように導かれた。

詩篇85篇12～13節

12 主が良い物を与えられるので、われらの国はその産物を出し、13 義は主のみ前に行き、その足跡を道とするでしょう。

3

黙想とところの投影の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

質問

Q1. どんな時に心が騒ぐでしょうか？

Q2. 私たちは誰を信じ、何を信じるべきでしょうか？

Q3. 父のもとへゆく「道」The Way はどんな道でしょう？

ヨハネ福音書14章で約束されている4P

1. Place(場所・すまい)
2. Prayer(祈り・願い)
3. Presence(聖霊によるご臨在)
4. Peace(イエス様の平安)

4 みことばの解説

ヨハネ福音書14章から16章は、イエス様の告別メッセージとして知られます。13章にもその一部は始まっていること、また17章は、それまでの告別メッセージを締めくくるイエス様の祈り(大祭司の祈りと言われる)なので、ヨハネ福音書全21章の中で、4分の1に近い割合で、十字架前夜の告別メッセージが残されています。またとくにの福音書記者がこれを遺さなかった点でも、これは貴重な内容です。

ヨハネ福音書16章の最後の最後にこうあります、

『これらのことをあなたがたに話したのは、わたしにあって平安を得るためである。あなたがたは、この世ではなやみがある。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている。』ヨハネ福音書16の33

何に対して勇気を出すのでしょうか。悩み多き世の中に対して、勇気を出して立ち向かってゆく。それも一つですが、「イエス様がこれまで語ってくださったこと」を知って、キリストにある平安に満たされること、すなわち、イエス様の遺されたメッセージを深く学び、勇気を出して実践してゆく、と言ってよいでしょう。そこで今日からヨハネ福音書14～16章を学びます。

14章1～7節には、イエス様は始めに「心を騒がせずに信じなさい」、と語りかけます。そして「父の家」の話をする。そこには次の約束があります。

- ①すまいがたくさんある
- ②私たちにも場所が用意されている
- ③またも戻ってきて私たちを迎えてくださる
- ④イエス様のおられるところに共にいる



まず私たちが信じるのは、天国の約束です。天国への憧れと想像力(イメージ)を持つこと。永遠のいのちをいただいて、永遠に主と共に生きる(すまう・暮らす)喜び。あなたを創造された父のもとに行く「道」こそが祈りの小径であることを覚えます。